

「薬液量は?」「流量は?」看護業務に生かせるようかみ砕き!

脳の薬剤知識と “薬によって異なる要注意点” の理解



基礎(用法用量・副作用)から、
応用(投与時の重要チェックポイント)
まで学び“苦手克服”

平野 照之氏 杏林大学医学部 脳卒中医学 教授

1988年熊本大学医学部卒業、同年熊本大学第一内科入局、1991年国立循環器病センターレジデント、1996年メルボルン大学留学、1999年熊本大学神経内科、同助手、講師を経て2012年大分大学准教授。2014年杏林大学脳卒中医学教授就任、現在に至る。資格:神経内科専門医、脳卒中専門医。丁寧できめ細かい指導が持ち味で、看護師からの信頼が厚い講師。

プログラム

1. 脳の治療における薬剤が作用するメカニズムを理解
2. 疾患・治療における薬剤知識と「要注意点」の理解
 - 1) ラクナ梗塞
 - 一見、軽症に見えても進行するタイプに注意。
 - 2) アテローム血栓性脳梗塞
 - 全身の動脈硬化疾患の一環として捉える。抗血栓療法とリスクの幻覚管理。
 - 3) 心原性脳塞栓症
 - いろいろな抗凝固薬の作用機序と選択基準。いつからどうはじめるか。
 - 4) その他の特殊な要因による脳梗塞
 - 脳梗塞といっても様々ある。大動脈、心臓、下肢静脈、シャントの評価と治療薬。
 - 5) 原因不明の脳梗塞
 - 注目されている疾患概念(潜因性脳梗塞、ESUS)と潜在性心房細動の重要性。
 - 6) 脳出血
 - 高血圧の管理。抗凝固療法中の脳出血には拮抗薬が活躍。
 - 7) 急性血行再建療法(rt-PA静注療法、血栓回収療法)
 - 進化する急性期治療。rt-PAを打てば終わりという時代は終わった。
 - 8) 脳保護療法
 - 病型を問わず使用できるエダラボンは腎機能障害に注意!
3. 症状によって投与される薬剤の知識と「要注意点」の理解
 - 1) てんかん・けいれん
 - 頭蓋内圧亢進時限られたルートでの混合投与の危険性!
 - 2) 精神症状・不眠・鎮静 ●薬効の蓄積や持ち越し効果に注意
 - 3) めまい、悪心・嘔吐、潰瘍予防
 - 経口と直腸内投与で効果の出現時間に差が!「効いてない→過剰投与に要注意」
 - 4) 発熱・痛み
 - 痛みは頭蓋内圧亢進の恐れあり! 客観的な意識レベルや瞳孔を必ず確認!

東京 18年 8月4日(土) 10:00~16:00
[会場] 日総研 研修室(廣瀬お茶の水ビル)

福岡 18年 9月22日(土) 10:00~16:00
[会場] 日総研 研修室(第7岡部ビル)

参加料 一般 19,000円 会員 16,000円
税 込 ※会員は日総研会員制・専門雑誌の年きめ購読者です。
※昼食代は含まれません。昼食は各自でお持ちください。
※ご参加いただくには事前のお申し込みが必要です。
※最少催行人数14人。

学習のねらいは

ホームページ 毎週更新 現場から生まれた専門性を磨く研修と教材

脳の看護実践

急性期・回復期・在宅まで確かな技術と知識を!

会員制 季刊誌
A4変型判 96頁
入会金 3,000円
年間購読料 16,971円
(共に税込)

10月号
特集

脳神経看護で求められる患者とのかかわり方
損傷部位の見極めと
コミュニケーション・支援・援助・介助のコツをつかむ

▶詳細はホームページで www.nissoken.com ●お申し込み受付後、通常1週間以内に参加証をお送りしています。参加証が届かない場合にはお問い合わせください。

FAX申込書	▼受取確認者氏名を必ずフルネームでお書きください		送付住所	TEL()	施設宛 請求書 必要 ・ 不要
脳の薬剤知識と “薬によって異なる 要注意点”の理解[14674]	ふりがな		〒	-	-
	氏名 (受取 確認者)				
	生年月日	西暦 19 年 月 日			
	▼日総研の会員制・専門雑誌をご購読の方はお客様コードをご記入ください				
[1] <input type="checkbox"/> 東京 8/4	お客様コード	役職・部署	送付先 自宅 ・ 勤務先		
[2] <input type="checkbox"/> 福岡 9/22					
ご連絡をお送ります。メールアドレス					

FAX ☎0120-052690 電話 ☎0120-054977 ★会員とは日総研会員制・専門雑誌の年きめ購読者です。

主催 日総研出版 〒451-0051 名古屋市西区則武新町3-7-15 日総研ビル
 ※日総研ではご提供いただいた個人情報は目的に従い適切に利用しております。詳細はwww.nissoken.com/privacy